

連合奈良推薦5議員がコロナ対策 で橿原市に申し入れを行う！！

4月28日、2月に行われた橿原市議会議員選挙で当選した、連合奈良推薦の5名の市議会議員が連名で、コロナ対応に関わり、亀田橿原市長に対し『「奈良県緊急対処措置」を受けて橿原市に対する要望書』の提出を行いました。

この取り組みは、松尾高英市議の呼びかけに、大保由香子市議、白井卓也市議、上田邦芳市議、今井りか市議が賛同し申し入れを行ったものです。コロナウイルス感染が拡大し、第4波が到来している中、橿原市の対応も遅々として進まない中、連合奈良推薦議員が先頭になって行動を起こしたものです。



その結果、開店休業状態にあったコロナ対策本部が始動し、要望事項の協

力金の支払い、ワクチン接種申し込みの体制強化などについて改善の成果が得られています。

5人の連合奈良推薦議員が一体となり、働く人や弱者の側に立ち、その人たちの代弁者として今後とも取り組みを進めて行くことが望まれます。

※「**奈良県緊急対処措置**」を受けて橿原市に対する**要望書**を裏面に添付しています。ぜひご一読ください。

衆議院総選挙で政権交代を 自・公政権は退場を！！

前安倍政権では、首相の連れ合いや「腹心の友」の、現菅政権では首相の子息の、関係する学校や会社が、行政から破格の優遇を受けていました。

また、菅首相に厳しい質問をしたニュースキャスターが番組から降ろされたりしています。中止の判断ができないオリンピック、国民に犠牲を強いても、遅々として進まないコロナウイルス感染拡大対策など様々な矛盾を露呈しています。

自・公政権は「たががはずれた」状態で混迷しており、国民収奪を強化し、貧困と格差を増大させています。この国の栄華神話は過去のものとなり、主体性のないアメリカ一辺倒の政治は限界を呈しており、中国をはじめとする各国の影響も無視できず劣化し、衰退の一途を辿っています。

この現状に対して、有権者ひとり一人の責任が問われますが、残念ながらそうした意識は国民の中では強くありません。目前に迫った政権選択選挙である、衆議院総選挙で政権交代を実現し、持続可能な社会を作ることが私たちに求められています。

労働相談ホットライン ※連合奈良につながります。

フリーダイヤル いこうよれんごうに
0120-154-052



連合アクション2021

毎月05日は「れんごうの日」

「奈良県緊急対処措置」を受けて橿原市に対する要望書

令和3年4月28日

橿原市長
亀田忠彦様

橿原市議会議員
今井 くによ
上田 卓香
田 すすむ
保山 高
大松 尾 高
英



「奈良県緊急対処措置」を受けて橿原市に対する要望書

令和3年4月27日、奈良県は、第19回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、強い危機感をもって感染拡大を防止し、医療提供体制を護るための「奈良県緊急対処措置」の策定と実行を発表しました。そこには、奈良県全域を対象とする措置はもとより、各市町村の実情に合わせて対処していく旨が記載されており、それは今後の橿原市の新型コロナウイルス感染症に対する施策や舵取りが、今まで以上に重要になることを意味しています。このような状況を踏まえ、以下のことを要望いたします。

記

1. 奈良県が、県外からの流入対策として、県内市町村が時短要請をし、協力金等を支払う場合に、同様に県も時短要請を行い、同額を上乗せ支援することを踏まえ、橿原市内の飲食店等に対し、独自の時短要請を行い、その要請に応じた店舗には協力金を支払うこと
2. 感染状況に応じて、橿原市商品券の開始時期ならびに利用期間を延期することを検討すること
3. 新型コロナウイルス感染症の陽性者になっても、病院への入院やホテル療養が出来ず、自宅待機を余儀なくされる橿原市民に対して、食品等の支援をすること
4. ワクチン接種に関して、電話での申し込みが増え、回線が混雑したことを踏まえ、インターネットでの申し込みが困難な高齢者にとっても、申し込みをしやすい受付体制の強化を行うこと
5. 必要に応じて、緊急事態宣言の適用を国に要請するように奈良県に要望すること

以上